

別紙

I. 事業評価総括表

(単位：円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考 (間接交付事業者 における事業に 要した費用)
青森県核燃料サイクル交付金			青森県	73,276,400	73,276,400	(105,538,400)
1	公共用施設に 係る整備及び 維持補修措置	大間崎第2駐車場整備事業	大間町	50,020,000	50,020,000	(64,889,000)
2	公共用施設に 係る整備及び 維持補修措置	奥戸小学校増築・グラウンド改修 事業	大間町	23,256,400	23,256,400	(40,649,400)

II. 事業評価個表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	大間崎第2駐車場整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大間町
交付金事業実施場所	青森県下北郡大間町大字大間 地内	
交付金事業の概要	<p>大間町の観光資源である本州最北端の国定公園「大間崎」の観光拠点としての機能強化及び、大間崎からの「景観」や大間マグロを始めとした「食」などの観光資源の価値向上を図るため、第2駐車場を整備しました。</p> <p>駐車場整備面積A=2,343㎡            駐車場整備工事1.0式（土工 1.0式、地盤改良工 1.0式、法面工 1.0式、排水構造物工 1.0式、舗装工 1.0式）</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>大間崎は本州最北端の国定公園として国内外から多くの観光客が訪れる観光名所であり、また、ここ数年で当町の一級ブランドである「大間マグロ」を大間崎周辺の食堂等でも食べる事ができるようになったことにより、ゴールデンウィーク、8月のお盆、夏休み時期をはじめとした観光シーズンは、現在の駐車場では収容人数が不足し、路上駐車による交通障害も発生しています。新たな駐車場の整備により、交通障害が解消されるだけでなく、「本州最北端」や「大間マグロ」といった当町を代表する観光資源の価値向上も期待されます。</p> <p><b>【目標】</b>            本駐車場を整備することにより、交通障害の解消及び、観光資源の価値向上を図ります。</p>	

事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	令和元年度			
事業期間の設定理由	平成30年度～令和元年度の2ヶ年の事業計画としている為。					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和2年度	
	観光資源の価値向上	成果実績				
		目標値				
		達成度	%			
	評価年度の設定理由					
	交付金事業が完了し次第、評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	令和元年度までに駐車場整備工事を実施したことにより、交通障害の解消や観光資源の価値向上を図られることが期待されます。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	年度
	工事の進捗量	活動実績	%	100.0	100.0	
		活動見込	%	100.0	100.0	
		達成度	%	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	年度	備考		
総事業費	4,514,400	64,889,000		総事業費 H30～R元 69,403,400		
交付金充当額	2,300,000	50,020,000				
うち文部科学省分	0	0				
うち経済産業省分	2,300,000	50,020,000				

交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	駐車場整備工事	指名競争入札	野崎建設工業株式会社	64,889,000
交付金事業の担当課室	大間町	産業振興課		
交付金事業の評価課室	大間町	産業振興課		

II. 事業評価個表（令和元年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称
2	公共用施設に係る整備及び維持補修措置	奥戸小学校増築・グラウンド改修事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大間町
交付金事業実施場所	青森県下北郡大間町大字奥戸 地内	
交付金事業の概要	<p>大間町立奥戸小学校の特別教室棟の増築、旧特別教室棟が配置されている木造校舎の解体及びグラウンド改修を実施することで、児童の安全確保と教育環境の向上を図ることとしており、令和元年度は、木造校舎の解体及びグラウンド改修に伴う実施設計業務を実施しました。</p> <p>木造校舎（旧特別教室棟）解体工事 1.0式            グラウンド改修に伴う実施設計業務 1.0式            （構造・規模）木造平屋建 1棟            旧特別教室棟 床面積：703.26㎡            渡り廊下 床面積：49.79㎡            物置 床面積：19.44㎡</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>当該木造校舎は昭和28年に建築され、建築後66年が経過し、老朽化が進み耐震性にも欠ける状況にあります。また、グラウンドについては、狭隘及び変形な敷地である上、水はけが悪いことから、屋外での体育活動に支障が生じている。よって、児童の安全で安心な学習環境を確保するため、特別教室棟増築及びグラウンド改修を行うものです。</p> <p><b>【目標】</b>            平成30～令和2年度の3ヶ年にわたり、特別教室棟増築工事・木造校舎解体工事・グラウンド改修を実施することによる、校舎の耐震化率100%の達成。</p>	

事業開始年度	平成30年度	事業終了（予定）年度	令和2年度			
事業期間の設定理由	平成30年度～令和2年度の3ヶ年の事業計画としているため。					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和2年度	
	校舎の耐震化率100%	校舎の耐震化率	成果実績	%		
			目標値	%	100（73.46（H30.3.31時点））	
			達成度	%		
	評価年度の設定理由					
	交付金事業が完了し次第、評価を実施。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	3ヶ年計画事業の2年目として、旧特別教室棟を解体し、グラウンド改修実施設計業務を行ったことで、グラウンドに設置する設備の配置等について計画することができました。					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	年度
	工事の進捗量	活動実績	%	100.0	100.0	
		活動見込	%	100.0	100.0	
		達成度	%	100.0	100.0	
交付金事業の総事業費等	平成30年度	令和元年度	年度	備考		
総事業費	307,638,000	40,649,400		総事業費 H30～R2 422,504,400		
交付金充当額	235,000,000	23,256,400				
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	235,000,000	23,256,400				

交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	解体工事	指名競争入札	高松建設工業株式会社	32,780,000
	解体工事監理	随意契約	株式会社石川設計	499,400
	グラウンド改修実施設計	指名競争入札	株式会社コサカ技研	7,370,000
	計			40,649,400
交付金事業の担当課室	大間町 教育委員会教育課			
交付金事業の評価課室	大間町 教育委員会教育課			